



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒

さきやまようしょう
発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



「思わず考えちゃう(ヨシタケシンスケ)」から

できないことを できないままにするのが仕事

成美さんが発行した「気まぐれ本紹介だより」に触発され、2階のミニ移動図書館に行ったところ、「思わず考えちゃう(ヨシタケシンスケ)」に出会いました。その中で気になった話題「できないことをできないままにするのが仕事」を紹介します。ぜひ家族会議の議題で取り上げてみてくださいね。

「できないことをできないままにするのが仕事」

ここからは、もう少し深く、みなさんと考えすぎちゃうおうということで、まずは、お仕事について。

できないことをできないままにするのが仕事っていうのは、ものすごく反論のありそうな言葉かなと、思います。

できないことをできるようにするのが仕事だというふうに、言われてることが多いような気がするんだけど。

例えば、作家の人なんかは、要は自分ができないことっていうのを、一つ強みにしている部分も多分あるはずで。

つまり、自分のできないことをできないままにしておくっていうのが一つ、その人の作家性みたいなものを保つことになるんじゃないのかなと、ちょっとと思って、この絵を描いたんです。

できないことを
できないままに
するのが
仕事



何でもできるようにするんじゃなくて、自分ができないことっていう短所を、どう長所に変えるかみたいな部分が、案外、誰にとっても大事なんじゃないかなと思って。

できないことをできないままにというのは、要は、自分がないものを探すのではなくて、持っているものを

磨くみたいなことの、一つの言い方です。

僕のことと言うと、絵に色をつけるのが苦手で、あるときまでは悩んでいたけれど、人に任せちゃうことにしたら、それ以外の部分に集中できて、いろいろとやりやすくなりました。

だから、ここまできたら、僕なんかは、できないことは本当にもうできないままでいいんじゃないのかなと思ってます。

自分のできないことをどんどんつぶしていって、できることを増やしていくのが仕事の人もいるんだけど、でもあえてそこをせずに、できないことをそのままにするっていう覚悟の決め方、そういう立ち位置もひょっとしてあるんじゃないか。

そういうふう to 思えば、すごく楽になる人はきつといっぱいいるんじゃないでしょうか。何事もバランスなので、言い方が難しいですけどね。



★「ミニ移動図書館」から本を借りる人も増えてほしいですね(書かれた名前が増えると嬉しいです)。
☆成美さんの「気まぐれ本紹介だより」で取り上げた「成瀬は天下を取りにいく(宮島未奈)」は、続編の「成瀬は信じた道をいく」もあります。こちらも面白いので、読んでみてください。

